

【西区】令和6年第2回区づくり推進横浜市議員会議

令和6年6月11(火) 15時30分開始
西区役所3B会議室

次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

- (1) 令和6年度 西区運営方針について
- (2) 令和6年度 西区主要事業の進捗状況について
 - ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進
 - イ 区制80周年記念事業
 - ウ 高齢者あんしん生活サポート事業
 - エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業
 - オ 子育て支援の推進
 - カ 地域連携推進・回遊性向上事業
 - キ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業
 - ク スポーツ振興事業
 - ケ 西区「Zero Carbon」推進事業
 - コ 地域防災活動推進事業
- (3) 西区に係る予算のすがた
- (4) 区制80周年記念事業の取組

【参考】西区における開発動向等

4 会議報告書の作成

5 閉 会

I 基本目標

つながりをお大切に

誰もが **にこやか** **しあわせ**に **く**らせるまち 西区

今年には西区制 80 周年を迎えます。区民の皆さまの地域への愛着を深め、更なる地域のつながり強化・にぎわいの創出につなげていけるよう、地域や学校、商店街、企業等の皆さまと連携し、西区全体で 80 周年記念の取組を展開していきます。

地域の皆さまがこれまで育んできたつながり、80 周年で生まれた新たなつながりを生かし、西区の総合的な計画である西区地域福祉保健計画（にこまちプラン）の第4期計画と地域包括ケアシステムの構築に向けた「西区アクションプラン」を一体的に推進していきます。

子育て支援をはじめ、あらゆる世代の皆さまへのサービス向上のため、各事業を進めます。さらに、能登半島地震を受け、地域防災力の向上による安全安心なまちづくり、GREEN×EXPO 2027 の開催や脱炭素のための環境に配慮したライフスタイルへの転換などの機運醸成に取り組みます。デジタル区役所のモデル区としての蓄積を活かし、業務の効率化を進め、効果的な情報発信や利便性の高い窓口サービスに努めます。



区制 80 周年をみんなで祝い
(臨港パーク)

II 目標達成に向けた施策

1 地域のつながりづくり

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

区制 80 周年を契機とし、西区の未来に向けた
つながり・にぎわいづくり

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

4 安全・安心なまちづくり

横浜市中期計画 2022～2025

III 目標達成に向けた組織運営 ～区民の皆さまに寄り添う区役所づくり～

1 お客様の立場に立った窓口サービスの提供

区民の皆さまを笑顔とあいさつで温かくお迎えます。傾聴を第一に、丁寧で分かりやすい説明を心がけ、正確で的確なサービスを提供するとともに、適切に業務を行います。また、区民の皆さまの目線に立ち、デジタル技術の活用による区民向けサービスの利便性向上に取り組みます。



西区のマスコットキャラクター
「にしまるちゃん」

2 『伝わる』情報発信

知りたいことは何か等、受け手の立場に立ち、どうすれば伝わるかを考えて情報発信します。また、「広報よこはま」や HP に加えて、SNS (X や LINE 等) での発信など、様々な媒体を積極的に活用します。

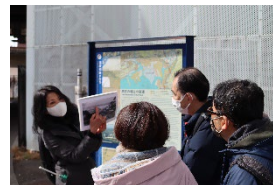
3 『チーム西区役所』の強化

人材育成や風通しのよい職場づくりに加えて、協働、共創、チームイノベーションを創出する職場環境の実現と働き方改革を進めるとともに、歳出見直しに向けて取り組みます。また、各課の連携を強め、『チーム西区役所』として総合力を発揮し、区民満足度の向上に努めます。

主な事業・取組については、次ページをご覧ください⇒

1 区民・企業・団体・区役所が一体となって区制80周年を盛り上げ、地域のつながりの強化・賑わい創出に取り組み、未来に繋げます

- ・西区制80周年記念事業実行委員会が実施する記念事業、地域や団体の皆さまと共に開催する記念連携事業などを通じて区民の皆さまの地域への愛着を深め、にぎわいにつなげていきます。また、子どもから大人、自治会・町内会や企業、学校など幅広く連携を呼びかけ、そこで生まれた新たなつながりを、90周年、100周年へとつなげていきます。



温故知新のみちガイドツアー

2 「にこまちプラン」を推進し、地域の皆さまとともに課題解決に取り組みます

- ・地域活動を区役所と関係機関が一体となって支援するなど、「にこまちプラン」を着実に推進するとともに、第4期計画の振り返りを行い、令和8年度から開始する第5期計画の骨子を作成します。
- ・地区別計画の取組発表等を中心とした「にこまちフォーラム」の開催により、活動の情報やノウハウを共有し、更なる活動の充実につなげます。
- ・小学校へのお出前講座などの「子ども向け啓発」を通じ、子どもたちやその親世代の地域参加を促し、新たな担い手の発掘・育成に取り組みます。



にこまちフォーラム

3 地域活動を支援し、協働によるまちづくりを進めます

- ・自治会・町内会の負担軽減に向けたデジタル化に関わる取組、デジタル技術を活用した改善の提案や実施後の効果検証を行い、多様な主体の連携による地域協働を進めます。

4 「学び」の機会や実践する場をつくとともに、地域の「つながり」の輪を広げる支援を行います

- ・昨年度作成した「西区今昔かるた」を使った体験会等の実施を通じて、歴史・文化など、あらゆる視点から西区の魅力を再発見する機会をつくり、地域について愛着を持つきっかけとします。

いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

中期計画 テーマ01 子育て世代への直接支援

中期計画 テーマ02 コミュニティ・生活環境づくり

1 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援を行います

- ・子育て家庭が地域で孤立することなく、安心して子どもを産み育てられるよう、「プレパパママクラス」や「よちよちパパママ育児教室」、「赤ちゃん教室」などを実施し、夫婦で取り組む子育てを学ぶ機会や仲間づくりの場につなげます。なお、ニーズの高い休日の「プレパパママクラス」は、定員を拡充します。
- ・幼稚園・保育園や地域子育て支援拠点などが連携し、育児講座を行うなど、安心して子育てができる地域づくりに取り組みます。



地域の親子に向けた育児支援の様子

2 高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう取り組みます

- ・オンラインツールを活用した効果的な広報により、地域包括ケアシステム等への理解を進めるほか、「ころばんよ体操」や介護予防リーフレット「お元気活動応援マップ」などを活用し、区民の健康づくりや介護予防に取り組みます。
- ・区民が気軽に脳の健康チェックができる機会づくりや、幅広い世代に向けた認知症サポーター養成講座を実施することで、認知症に対する理解を深め、認知症の早期対応の機運づくりと共生を進めます。

3 障害のある人も住みやすい環境づくりを進めます

- ・地域防災拠点訓練等を通じて、障害者に対する災害時の支援や配慮についての理解を進めます。また、イベントや広報媒体等を通じて、幅広い区民に障害への理解を深める取組を進めます。
- ・施設や病院から地域生活への移行や住宅の確保に向け、一人暮らしを体験できる生活体験事業を継続し、並行して居住支援関係機関に働きかけを行います。



障害者施設利用者の作品展示

4 健康づくり啓発や健康情報の発信に取り組みます

- ・生活習慣病の予防の取組のほか、新たに親子で参加できる歯みがき教室を行うなど、将来を担う子ども及び働き・子育て世代の健康づくりにも力を入れて取り組みます。

1 GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)に向けた機運を醸成します

・開催意義や目指す姿をわかりやすく地域に発信します。さらに脱炭素やSDGsなどの関連する取組と併せ、近隣区とも連携しながら、一体的で効果的な機運醸成を実施します。

2 地域資源を活用して、回遊性向上に取り組めます

・花と緑、史跡、温故知新のみちなど、既存の地域資源を活用するほか、市民目線で西区の新たな魅力を発掘、発見していただくフォトイベントを開催し、区内の回遊性向上に取り組めます。

3 商店街等と連携したイベントを実施し、地域経済の活性化を図ります

・西区の商店街・個店の魅力を発信する冊子を、西区制80周年記念事業実行委員会と連携して作成し、区民・来街者に配布することで、まちのにぎわいを創出します。また、冊子を活用したイベント(スタンプラリー)を開催し、商店街の振興と店舗への誘客促進を進めます。



西区商店街スタンプラリー

4 西区民まつりを通じて、地域の活性化を図ります

・区民による区民のための交流事業として、西区民まつりを開催し、顔の見える関係づくりや情報発信の機会を増やすことで、地域の交流や活動の活性化を図ります。

5 伝統文化に触れあう機会を創出し、地域交流を促進します

・「西区虫の音を聞く会」や「西区キャンドルアート」を実施し、区民に地域の伝統文化に触れる機会を提供します。虫の音を聞く会では彦根鉄砲隊に演武を披露いただき、80周年を盛り上げます。
・横浜能楽堂改修に伴う休館中においても、小学生を対象とした「能と狂言の出前講座」を実施します。

6 身近な場所で誰もがスポーツに親しめる機会をつくれます

・年齢、障害の有無等に関わらず楽しめるインクルーシブスポーツを含む体験の場の提供、ウォーキングイベント等を通じ、誰もがスポーツに親しめるよう働きかけます。また、80周年を記念し、「夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催します。



インクルーシブスポーツ体験会の様子

7 まちの緑化を通じて地域のつながりづくりを進めます

・区民が身近に花や緑を感じられるよう、公園愛護会や区内の小中学校等と協働し、公園や学校の花壇への花苗植えを行います。また、藤の花の再生に向けた取組を発信し、地域のにぎわい形成を目指します。

8 区内の企業・団体と連携し、地域課題解決やSDGsの推進を図ります

・神奈川大学との連携推進協定のもと、地域課題解決に向け、連携強化を図ります。
・企業・団体と連携し、次世代の子どもたちが作成したSDGsに関する作品のパネル展を開催します。

1 地域・区本部の防災機能の強化とともに、自助・共助の取組を進めます

・能登半島地震を受け、自助・共助・公助の取組を一層推進します。地域防災拠点における防災訓練支援等を行うとともに、区本部において各種訓練を行います。また、帰宅困難者一時滞在施設と連携し、帰宅困難者の受け入れ訓練を実施します。
・災害時に要援護者の方々が安心して避難できるよう、自助・共助・公助の取組を推進するとともに、電源を要する医療機器を使用している方が災害時に充電できるように、地域防災拠点への発電機の配付を継続し、災害時の備えを進める支援をします。
・感震ブレーカーや初期消火器具の設置を推進するとともに、崖地に関する相談会を実施します。



一本松小学校地域防災拠点訓練の様子

2 地域の交通安全対策や防犯力の強化に向けた取組を推進します

・子どもたちの安全確保のため、関係機関と連携した通学路等における交通安全対策の実施や、交通安全教室を開催します。また、犯罪発生情報等の情報発信に加え、地域と連携した防犯パトロールを実施します。

3 体験講座や清掃活動等を通じて環境問題・脱炭素に取り組めます

・「ヨコハマ プラ5.3(ごみ)計画」の達成、脱炭素社会の実現に向け、引き続きごみ減量、食品ロス削減・ごみの分別や生ごみ水切りの更なる徹底などの発生抑制(リデュース)について、区民、事業者働きかけていきます。
・きれいな街づくりを推進するため、地域の皆さまや学校・企業等と連携した清掃活動、ポイ捨て対策を実施します。



子ども向け出前講座(環境学習)

区民の皆さまに寄り添う区役所を目指して

総務課

チーム西区役所を支え、快適で親しみやすい区役所を目指します。能登半島地震の教訓を踏まえ、自助・共助の活動支援や各種訓練等により災害対応力の強化に取り組みます。また、選挙事務や統計調査を適正に進めます。

税務課

賦課業務を公正・適正に行うとともに市税収入の安定的な確保と税負担の公平性を保つため、適切に滞納整理を進めます。区民の皆さまに寄り添いながら、分かりやすく、丁寧に説明することを心掛けます。

子ども家庭支援課

地域や関係機関の皆さまと連携して妊娠期から学齢期までの子育て家庭を支援します。新たな横浜市子育て応援サイト・アプリ(仮称)も活用しつつ、引き続き対面での相談等、一人ひとりきめ細やかな支援を大切にします。

戸籍課

皆さまの生活の根幹をなす戸籍簿・住民基本台帳等の適正な管理を徹底するとともに、親切・丁寧にわかりやすい窓口対応を行います。また、マイナンバーカードを活用した手続きを促進します。

西土木事務所

道路・下水道・公園の適切な維持管理と災害対応により、安全・安心な暮らしを守ります。また、公園の花苗植えなどボランティア活動支援や藤の花再生にも取り組み、潤いと安らぎを感じられるまちづくりを進めます。

区政推進課

分かりやすく「伝わる」情報発信を行い、皆さまの声を地域課題の解決につなげます。また、地域・企業・団体の皆さまと連携し、区制80周年の成果を未来へとつなぐ、魅力と活気あふれるまちづくりを進めます。

区会計室

区民の皆さまの信頼に応える、正確で迅速な会計経理事務を行います。また、窓口に来た方や電話でのお問い合わせに対し、わかりやすい説明を心掛け、親切で丁寧な対応をします。

福祉保健課

地域の皆さまや関係機関と連携し、4年目を迎える第4期「にこまちプラン」を推進するとともに、次期計画の策定に着手します。また、関係団体と協力し、区民の皆さまの主体的な健康づくりを推進します。

保険年金課

皆さまが安心して医療・介護等を受けられるよう、国保・介護等の保険や、国民年金について、適切かつ迅速に業務を進めます。また、安定した制度運営のため、保険料収納率の向上を図ります。

南浅間保育園

子どもの人権と最善の利益を守り、その成長を適切に援助できるよう、一人ひとりを大切に誰からも信頼される保育を実施します。保護者や地域の方たちと共に子どもの成長や発達を喜び合いながら、子育てを支援します。

地域振興課

自治会・町内会や商店街をはじめとした地域の皆さまに寄り添いながら、まちの魅力発信やにぎわいづくりを更に進めていきます。また、清潔で美しい街づくりや安心・安全なまちづくりに取り組みます。

高齢・障害支援課

高齢者も障害のある方も、自分らしい暮らしを続けられるよう、寄り添った支援やつながりづくりに取り組みます。また、認知症や障害などへの理解を深めるための啓発を進め、誰もが住みやすいまちづくりを目指します。

生活衛生課

食中毒予防・感染症対策・動物の適正飼育を推進する取組を通じ、地域の皆さまや西区を訪れる人々の食の安全や暮らしの衛生を確保します。特に、大規模な商業施設・宿泊施設に対する衛生指導を重点的に実施します。

生活支援課

生活の不安や困りごとがある方に寄り添い、ご相談をお聴きしながら皆さまの生活を支えていきます。また、子どもたちの将来の自立に向けて、生活・学習支援事業を行い、学習できる環境づくりを推進します。

「チーム西区役所」は資源循環局 西事務所や西消防署、中央図書館等とも連携し、地域の皆さまと一緒に課題解決に取り組みます！



3-(2) 令和6年度 西区主要事業の進捗状況

地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 (福祉保健課)
【予算額 2,469千円(対前年度比 137千円増)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、地域包括ケアシステムの構築と一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和6年度は、第4期計画(令和3～7年度)の4年目を迎え、「区全体計画」は、現行計画の進捗等について振り返りを行い、次期第5期計画の策定作業に着手します。また、「地区別計画」に関しては、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携した地区支援チームが各地区の取組を積極的にサポートするとともに、次期計画につながるよう現行計画の振り返りを行います。

併せて、地域の皆様等に地域活動や福祉保健により関心を持っていただけるよう広報・啓発にも取り組めます。

(1) 「にこまちプラン」の推進等(2,469千円)【拡充】

① 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の推進

地域における様々な課題の解決に向けて、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザが連携しながら、取組を行うとともに、「地区別計画」の推進に向けた地域活動を協働で支援していきます。

また、「区全体計画」については、福祉保健分野に精通したアドバイザーの助言のほか、各分野の代表者で構成された「推進評価委員会」(計3回：7月1日、12月9日、1月20日実施予定)での意見を聴取して推進するとともに、第4期計画の振り返りを行い(区民アンケートの実施(7月実施予定))、令和8年度から開始する第5期計画の骨子を作成します。



推進評価委員会

■参考：にこまちプラン区民アンケート

【調査対象】18歳以上の西区民3,000人(無作為抽出)

【調査方法】郵送、無記名、自記式

【実施期間】7月1日～31日(1か月間)

【調査目的】区民の皆様意識等を把握し、次期計画の策定に活かします

【調査項目】・福祉保健や地域活動に関すること

- ・住み良い地域づくりや魅力あるまちづくりに関すること
- ・デジタル機器の活用状況 等

② 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の 広報・啓発

地域活動の情報やノウハウを共有して活動の充実に
つなげるため、地区別計画の取組発表などを中心とし
た「にこまちフォーラム」を開催します(2月15日実
施予定)。今年度は、地域福祉の視点から考える防災
講演会を組み合わせて実施する予定です。

また、広報よこはまの特集や地区別計画紹介動画の
YouTube配信、さらにはオリジナル啓発ノートの配布
など、区制80周年の様々な機会を捉えて、積極的なP
Rを行います。

加えて、小学校へへの出前講座を実施する(戸部小学
校：5月15日、20日実施、宮谷小学校：5月30日実
施)など「子ども向け啓発」を進め、子どもたちやそ
の親世代(現役世代)の参加意識を醸成し、新たな担
い手の発掘・育成につなげます。



にこまちフォーラム

■参考：区制80周年記念 令和5年度にこまちフォーラム

【開催日】令和6年2月17日

【会場】西公会堂

【内容】

第1部 各地区の活動発表

コロナ禍を乗り越え、にぎわいを取り戻した地域活動の様子や子どもたちの取組が発表されました。

第2部 区制80周年記念にこまちパネルディスカッション

にこまちプラン推進の主体となる団体や関係機関の代表の方々から、これまでを振り返り、西区の未来についてお話をいただきました。

【参加者数】合計 330名

イ 区制80周年記念事業（主催：西区制80周年記念事業実行委員会）【拡充】（区政推進課）
【予算額 9,500千円（対前年度比 7,500千円増）】

連合町内会・自治会などの地域団体や、学校、企業の皆様で構成された、西区制80周年記念事業実行委員会（以下、「実行委員会」という）において実施する、区制80周年を祝う記念事業に対し助成を行います。記念事業は、「重ね押しスタンプラリー☆西区の魅力を再発見！」や商店街・個店の魅力を発信する「横浜西区LOVE Walker」の発行、記念式典の開催、記念誌の発行、記念作品の制作などを「温故知新 歴史をつむいで未来をつくろう」をキャッチフレーズに、大人はもちろん、こどもたちの思い出に残るものとし、地域への愛着を深める契機とします。

なお、実行委員会においては、個性ある区づくり推進費(補助金)のほか、協賛金を活用します。

※詳細は、3-(4)「区制80周年記念事業の取組」を参照

■参考：これまでの取組

(1) 温故知新のみち謎解きデジタルスタンプラリーの実施

- ・概要：歴史ある西区の魅力を再発見できる散策ルート「温故知新のみち」沿いに点在する総合案内サイン（全14 か所）を謎解きしながらめぐる、デジタルスタンプラリーを実施
- ・実施期間：令和6年2月15日～3月15日
- ・参加者数：384人



チラシ

(2) 温故知新のみちガイドツアーの開催

- ・概要：横浜の成長とともに大きく変貌してきた西区のまちを、ガイドの歴史解説とともに歩くガイドツアーを実施
- ・実施日：令和6年3月2日、3日、10日
- ・応募者数（延べ）：212人
- ・参加者数：合計119人



ガイドツアーの様子

(3) 西区制80周年記念オリジナル フレーム切手の販売

- ・概要：実行委員会及び西区役所が西区の歴史や魅力を伝える風景などの画像素材を提供し、日本郵便(株)南関東支社が西区制80周年を記念したオリジナルフレーム切手を制作、販売。
- ・名称：「西区制80周年 温故知新 歴史をつむいで未来をつくろう」
- ・販売開始日：令和6年4月1日（月）
- ・販売部数：1,000シート
- ・販売価格：1,330円（税込）



オリジナル フレーム切手

いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

ウ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 2,864千円(対前年度比 231千円減)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区アクションプラン」に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業(891千円)【拡充】

① 啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します。また、オンラインツールを活用した広報（動画広告の配信）により新しい関心層へ訴求します。(11月～)

② 地域ケア会議の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けた区レベル・地域包括支援センターレベル会議の充実を図るため、地域課題の抽出から課題解決につなげるためのアドバイザー派遣や、有識者の講師を招聘します。

(2) 認知症等高齢者支援事業(843千円)

① 軽度認知障害（MCI）・認知症の早期対応の機会づくりの促進

認知症の早期対応の機運を高めるため、区民が気軽に脳健康チェックができる機会をつくる（200人分、エーザイ「のうKNOW」を活用、通年）とともに、予防につながる活動を推進し、必要な方にはもの忘れ検診等、必要な支援につなげます。

軽度認知障害（MCI）と診断された方に対し、認知症予防のポイントと予防につながる活動ができる地域の居場所について紹介したリーフレットを、地域包括支援センターや医療機関等の関係機関と連携し、配布します（通年）

認知症の重症化予防に効果のある運動等を、地域の身近な居場所で実践できるような講師派遣を行います（通年）。

■参考：令和5年度 認知症普及啓発講演会「俳優・山本學さんと主治医から学ぶ 認知症との向き合い方」
【開催日】令和6年2月23日 西公会堂 ホール 【対象者】どなたでも
【講師】山本學氏（俳優）、朝田隆氏（メモリークリニックお茶の水 理事長）【参加者】577名

② 認知症サポーター養成講座・普及啓発人材育成研修の実施（健康福祉局 区配事業含む）

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き、地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。（通年）

また、認知症キャラバン・メイト（登録者数177名）等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。（6月20日、2月予定）

(3) 健康づくり・介護予防事業(1,130千円)

① 「ころばんよ体操」を活用した健康づくり

4つの効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防、オーラルフレイル予防)がある西区のご当地体操「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」と、後期高齢者や障害者でも取り組みやすい「ころばんよ体操～Part 2～」を活用し、区民の健康づくりや地域における自主的な活動の活性化に努めます。(通年)



ころばんよ体操
～パタカラバージョン～

② 介護予防活動人材育成研修等の実施 (健康福祉局 区配事業含む)

西区の健康課題であるフレイル予防の重要性を啓発するため、医学博士、管理栄養士である大学名誉学長による講演会を開催しました(5月29日、参加者262名)。また、地域の身近な居場所における、栄養を切り口とした介護予防啓発を実施します。(通年)



令和6年度介護予防講演会の様子

さらに、地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数25名)等の人材育成研修及び介護予防活動グループ交流会を開催(7月16日、11月予定)し、地域における体力チェック等の活動の充実を図ります。

■令和6年度 介護予防講演会「こんな時代に低栄養?!人生100年時代 65歳からの食事のポイント」
 【開催日】令和6年5月29日 西公会堂 ホール
 【対象者】西区在住・在勤の方
 【参加者】262名

③ 介護予防リーフレットの配布

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットについて、屋内編と屋外編をまとめた新たなバージョンを作成し、地域における介護予防等を促進します。(通年)



「お元気活動応援マップ 屋外編」
公園・屋外で活動中のグループ紹介

エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 3,949千円(対前年度比 111千円減)】

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、障害者が自ら望む生活の選択を支援しながら、障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

(1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,189千円)

イベントや広報印刷物等、様々な機会を通じて啓発活動を行います。

① 地域防災拠点訓練での啓発

災害時に配慮が必要な障害者について、地域防災拠点訓練の参加者に、障害者が避難してきた際の配慮等を、訓練の中でミニ講座を行うなどして周知を行います。(3か所程度)

■参考：令和5年度地域防災拠点訓練での障害啓発

【実施日・場所】 9月3日 軽井沢中学校 参加者：86名
9月10日 稲荷台小学校 参加者：50名
10月15日 東小学校 参加者：68名



令和5年度地域防災拠点訓練

② 障害理解促進のためのイベント企画

障害者施設の利用者等が制作した作品の展示や事業所製品の販売を、区内障害者施設で行います。

(2月)

地域活動ホームガッツ・ビーと西等の関係機関と連携して、障害のある方と地域住民とのふれあいの機会を企画します。(通年)

■参考：令和5年度西区防災フェスタ

【実施日】令和6年2月23日

【場所】生活創造空間にし

【参加者】145名



障害者施設利用者の作品展示

③ 地域住民への啓発

障害理解を深める啓発活動として、障害者施設紹介リーフレット「西区style」を区民まつり等の機会一般の方に配布します。(通年)

④ 障害者施設利用案内の配布

区内障害者通所施設利用案内冊子「にしナビ」を障害当事者及び家族の相談に配付します。基幹相談センター、生活支援センターでの活用も進めます。

(通年)



障害施設紹介リーフレット「西区 Style」



障害者通所施設利用案内「にしナビ」

(2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(560千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進められるよう支援を行います。

① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

災害時を想定し日頃からの備えとして、行動手順や医療情報をまとめた「わたしの災害対策ファイル」を区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への配付と計画の作成支援を行います。(通年)



わたしの災害対策ファイル

② 福祉避難所と連携したガス式発電機稼働訓練の実施

長時間に渡る停電時に備え、臨時的に充電ができる場所として、区内の福祉避難所6カ所に発電機を設置しています。発災時に速やかに対応できるよう、福祉避難所で機器点検・稼働訓練を実施します。(通年、6か所)

③ 地域防災拠点(指定避難所)への発電機の配付

地域防災拠点(指定避難所)にある通常の発電機に加え、電源を要する医療機器を使用している方が、災害時に充電できるように発電機を配付します。12か所の地域防災拠点のうち年間3ヶ所ずつ配付し、医療用充電ステーションとして整備していきます。(通年)



医療用充電ステーション用発電機

■参考：令和5年度配付先地域防災拠点
一本松小学校、軽井沢中学校、老松中学校

(3) 障害者の地域生活支援事業(200千円)

障害者に対する地域生活支援の検討にあたり、必要とされるニーズの把握及び、障害者が地域の中で安心した生活を送るための企画・検討を行います。(通年)

また、障害者の地域移行や一人暮らしを円滑に進めるため、区内で一人暮らし体験ができる施設や体験事業を紹介するリーフレット「じぶんらしく、にしく」

(令和5年度作成)を障害当事者やその家族、支援機関等に広く配布し理解を促進します。(通年)



リーフレット「じぶんらしく、にしく」

オ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

(西区で子育て学び隊事業、西区の保育施設つながり事業)

【予算額 4,557千円(対前年度比 475千円増)】

西区は他区に比べ、出生数に占める第1子の割合や35歳以上で出産する人の割合、転入・転出者の割合が高いことを踏まえ、子育て家庭が地域で孤立することなく安心して子どもを産み育てられるよう、プレパパママクラスや赤ちゃん教室などを実施し、地域とのつながりを大切にしながら子どもの健やかな育ちを応援します。

(1) 西区で子育て学び隊事業(3,987千円)【拡充】

① プレパパママクラス

妊娠6～9か月の妊婦とそのパートナーが妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶための「プレパパママクラス」を3回1コースで実施しています。このうち参加ニーズの高い沐浴・おむつ交換などの体験を行う講座は、引き続き休日にも開催し、区役所会場(年6回)の定員を増やします(20組→24組)。その他、委託により地域子育て支援拠点など区役所以外の会場でも実施します(年6回)。



プレパパママクラス

“親になる前からの支援”を充実させ、赤ちゃんの誕生を父母がともに安心して迎え入れ、一緒に子どもを育てることの大切さを学ぶ機会としていきます。

※5月11日(土)委託実施:2組参加(会場:スマイル・ポート)

5月25日(土)実施:18組参加(会場:区役所)

② よちよちパパママ育児教室

初めてのお子さん(生後1か月～1歳未満)を持つ保護者を対象に、親子のふれあい遊びや夫婦で取り組む子育てを学ぶ育児教室を土曜日(年6回)に開催するほか、平日にも開催します(年4回)。プレパパママ教室と同日開催し、参加者同士の交流を図ります。

※4・5月実績:2回開催(休日1回、平日1回)計14組参加

③ 赤ちゃん教室

0歳児とその保護者や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりを目的に、地域の方の協力もいただきながら、区内9会場で実施します(年10回×9会場)。令和6年度からベビーマッサージを新たに加え、様々なプログラム(歯みがき、離乳食、親子遊び、子どもの救急蘇生法と事故予防)により情報を提供し、初めての子育てをサポートします。



赤ちゃん教室

※4・5月実績:15回開催 計134組、274名参加

④ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区域とする市立中学校(全5校)の3年生を対象に、「中学校いのちの教室」を実施します。助産師による性教育を通じて、生徒自身が正確な知識と情報を持ち、安全な性行動を選ぶことを学ぶ機会とします。また、命の尊さを伝えることにより、自分自身も大切な存在だと感じ今後の人生において主体的に意思決定していく力を身につけることにもつなげていきます。※年度後半に実施予定

⑤ その他の子育て支援の推進

子育て応援ガイドや保育施設等一覧による子育て情報の提供などを行います。

また、子育て家庭が手軽に情報を得られるよう、子育て情報の動画を作成し、オンラインで配信します。



表紙



中面 (抜粋)

子育てガイド (西区子育て航海図)

(2) 西区の保育施設つながり事業(570千円) 【拡充】

区内子育て関連施設が連携して、地域の会場に出向いて地区ごとの出前育児講座や、保育の質向上に向けた研修等を実施します。

また、南浅間保育園において、地域の親子に向けた子育て支援事業を実施します。

※出前合同育児講座：6～11月に7地区10会場で開催予定



地域の親子に向けた育児支援の様子

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

カ 地域連携推進・回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 5,337千円(対前年度比 1,056千円減)】

区民・企業・団体の皆様と連携協働しながら、環境に配慮した行動の定着を目指すとともに、花と緑や史跡をはじめとした、地域資源を活用した区内の回遊性の向上や魅力の発信等、活気あふれるまちづくりを推進し、令和6年の西区制80周年及びGREEN×EXPO 2027の一体的な機運醸成を図ります。また、地域で活動する様々な団体等と連携し、地域の主体的な取組を支援しながら、身近な地域課題の解決に取り組みます。

(1) 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業(2,711千円)

にしく緑花サポーター制度の推進や、ガーデンネックレス横浜事業と連携した魅力スポットの創出を図るとともに、GREEN×EXPO 2027に向けて機運醸成を行います。また、西区制80周年の機会を捉え、区内の魅力資源を発掘・発信し、区内の回遊性を促進します。

① 地域資源を活用した花と緑のまちづくりの推進

「にしく緑花サポーター」に登録いただいた団体等への花苗等の配布を通じて、サポーターと協働し、花と緑のまちづくりを推進します(花苗等の配布は春秋の年2回実施)。

これらの取組を通じて、GREEN×EXPO 2027に向けた区内の機運醸成や、近隣区と連携した効果的な周知に繋がります。また、「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し、区内に点在する花と緑の地域資源を活用し区内の回遊性を高めます。

■参考：にしく緑花サポーター

【開始年度】令和3年度

【対象】花壇等において緑化に取り組む区内の小中学校や公共施設等

【登録数】31か所(令和6年5月末時点)

〈内訳〉保育園、小・中学校：16か所
公共施設等：15か所



「相鉄・東急新横浜線沿線 花みどりスポット」の冊子(令和6年2月発行)

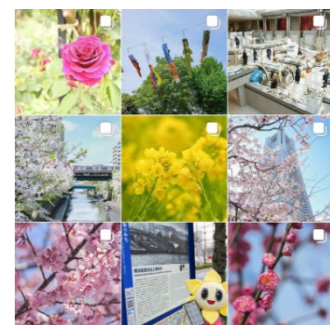


にしく緑花サポーターを通じた花植えの様子

② イベント等を契機としたまちの回遊促進

西区制80周年を機に、西区内の様々な魅力を市民目線で発掘・発信していただく機会として、Instagramを活用したフォトイベントを開催します。(7月開始予定)

また、まち歩きルート「温故知新のみち」について、引き続きSNSの活用や散策マップの配布等を行い、区内の回遊を促していきます。



西区公式Instagramでの魅力発信の様子

(2) 環境行動推進事業(2,101千円)

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

① 環境行動推進の取組

脱炭素など、環境に配慮した具体的な取組やSDGs達成に向けた取組を行うきっかけとして、参加型取組「にしくSDGsチャレンジ」や、区内企業と連携した環境学習イベントを実施します。

■参考：令和6年度にしくSDGsチャレンジ
～脱炭素の「いいね」をシェアしよう～
【事業概要】“Y-SDGs”に認証されている西区内事業者の「脱炭素」の取組を知り「いいね！」と思う取組に対し、「いいね！」と思った理由と、脱炭素社会実現に向けた自身の取組等について応募する。
【実施時期】令和6年8～9月

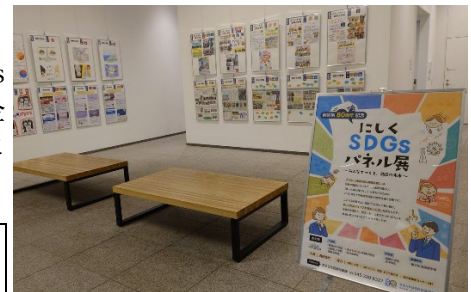


にしくSDGsチャレンジ 取組の様子
(令和5年度)

② 区内におけるSDGs達成に向けた機運醸成

若い世代が中心となって区内の環境配慮行動やSDGs達成に向けた取組を進める機運醸成を図るため、区内企業・団体等と連携しながら、次世代が作成した、SDGsに関する作品のパネル展を開催します。

■参考：「にしくSDGsパネル展」令和5年度実績
【実施期間】令和6年1月18日～令和6年3月2日
【事業概要】西区の若い世代が作成した絵画などの作品を展示
【会場】市庁舎及び区内4会場にて巡回展示
【参加校】8校
【作品数】約60点



「にしくSDGsパネル展」展示の様子

(3) 地域連携交流事業(465千円)

「にこまちプラン」の推進に向けて、地域支援の拡充と地域人材の発掘・育成を図るため、財政支援を行うほか、まちづくりアドバイザーを派遣します。

また、包括連携協定を締結している神奈川大学との連携強化を図ります。

① 西区地域づくり大学校修了生支援補助金

西区地域づくり大学校の修了生の地域活動の円滑なスタートに向け負担軽減を図ることを目的として補助金の交付を行います。

② 西区まちづくりアドバイザー派遣

地域が実施するまちづくり活動の企画・運営に対し、専門的な立場から助言を行い、地域の自主的活動を支援するためにまちづくりアドバイザーを派遣します。

③ 神奈川大学との連携

神奈川大学との包括連携協定に基づき、地域の課題解決やSDGsの推進など新たな展開が創り出せるよう、具体的な取組についての協議を進めていきます。

■参考：神奈川大学との連携実績例
令和6年度：地域大修了生による、学生向けワークショップの実施（6月）
令和5年度：・神奈川大学みなとみらいキャンパスホップ栽培プロジェクト
・「防災・減災対策」講座の開催（7月13日）
・【西区×観光ラウンジPBL】発展するみなとみらい＆昔ながらの西区魅力発信プロジェクト（10月～11月）
・にしくSDGsパネル展～みんなで作る、西区の未来～（2月～3月）



学生向け WS チラシ(令和6年度)

【予算額 2,910千円(対前年度比 119千円減)】

商店街活性化と誘客促進を進めると同時に、周辺の地域資源の魅力を情報発信することで“まちのにぎわい”を創出します。また、西区制80周年記念事業実行委員会と連携し、機運醸成につながるよう、効果的に進めていきます。

(1) 西区情報発信事業(550千円)

区民・来街者を対象としたアンケート結果を基に、西区の商店街等にある店舗を紹介する冊子(横浜西区LOVEWalker)を西区制80周年記念事業実行委員会と連携して2万部発行しました。

区民利用施設や観光案内所、商業施設等で配布するとともに、西区のホームページ等を活用し、西区の魅力を広く区民、来街者へ発信していきます。



冊子表紙

店舗紹介ページ

■参考：横浜西区LOVEWalkerについて
掲載内容

- ・ハマにしの愛され店(スポット) 51
- ・西区80周年の歩み
- ・ハマにし街歩きMAP
- ・西区の商店街コラム

配架場所

区役所、地区センター、
観光案内所(横浜駅、桜木町)等

発行部数

20,000部

(2) 西区商店街スタンプラリー事業(2,360千円)

区内の商店街等にある店舗を巡るスタンプラリー(西区ぱくぱく&てくてくスタンプラリー)を8月19日(月)から9月30日(月)まで開催します。

西区制80周年の機運醸成として、西区商店街組合連合会と連携し、今年度は商店街の加盟店舗の他、「横浜西区LOVEWalker」に掲載された一部店舗も対象とした拡大版として開催し、商店街・個店の誘客促進を図り、併せて、まちの賑わい創出につなげます。



スタンプラリー冊子(令和5年度)

■参考：令和5年度開催内容

西区商店街スタンプラリー

開催期間：10月1日(日)～10月31日(火)

参加店舗数：146店舗(12商店会)

応募件数：1,107件

【参加者からの主な声】

- ・地元の商店街で買い物をする機会が増えました。
- ・横浜へ越えてきて初めての秋でしたが、気になっていたお店に行ったり隣町まで散歩したりと楽しく過ごせました。
- ・スタンプラリー毎回楽しみにしています。



専用アプリ不要。
二次元コードを読み取ってスタンプを貯めます。

デジタルスタンプラリー(令和5年度)

【予算額 4,639千円(対前年度比 1,395千円増)】

区民が様々なスポーツを体験する機会を創出し、各種競技への理解・関心を高めます。

ウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層がスポーツを通じて地域に愛着を持つ機会を創出します。これらの事業は、区制80周年事業と連携し、機運醸成につながるよう、効果的に進めていきます。

(1) トップスポーツチームとの連携 (180千円)

横浜市のトップスポーツクラブと「区民DAY」を開催することで、区民へのプロスポーツの観戦機会を創出し、スポーツへの関心を高めます。

■令和6年度開催予定事業

- ① 横浜FCにし区民DAY ホームゲーム優待・招待
【開催日】 6月1日(土)
【対象者】 西区在住、在勤、在学の方先着1,000名
- ② 横浜DeNAベイスターズ ホームゲーム招待
 球団神奈川移転70周年記念として、神奈川県下の周年を迎える自治体にお住まいの方を招待
【開催日】 5月30日(木)、6月4日(火)～6日(木)
【対象者】 西区在住の方
- ③ 横浜F・マリノス ホームゲーム招待
【開催日】 10月中旬
【対象者】 西区在住、在勤、在学の方抽選200組
- ④ 横浜エクセレンス ホームゲーム招待
【開催日】 令和7年1月以降
【対象者】 調整中
- ⑤ 横浜キャノンイーグルス
【開催日】 調整中
【対象者】 調整中



にし区民 DAY (横浜 FC)

西区民・中区民ご招待 DAY
(横浜キャノンイーグルス)

■参考①：令和5年度開催実績

- (1) 横浜FCにし区民DAY
【開催日】 令和5年7月1日
【来場者】 542名 (全来場者 10,348人)
- (2) 横浜キャノンイーグルス西区民・中区民ご招待DAY
【開催日】 令和6年1月13日
【来場者】 1,123名 (全来場者7,010人)
- (3) 横浜エクセレンス西区民デー
【開催日】 令和6年2月23・24日
【来場者】 23日 296名 (全来場者2,283人)
24日 300名 (全来場者2,240人)

(2) **インクルーシブスポーツの推進 (884千円)【新規】**

西区民まつりにおいて、インクルーシブスポーツ等の体験会を実施し、各種競技への関心や理解、競技団体等との交流を深める機会を創出します。

開催予定日：令和6年11月10日(日)

開催場所：西前小学校体育館

■参考：令和5年度実績

【開催日】令和5年11月5日 西前小体育館

【参加者数】1,237名

【種目】ポッチャ、モルック、レーシング用車いす試乗体験、車いす走行体験

【協力団体】横浜市スポーツ協会、さわやかスポーツ普及委員、横浜ラポール、バセル、スポーツ推進委員、青少年指導員、西スポーツセンター



モルック体験の様子

(3) **西区制80周年記念ラジオ体操 (500千円)【新規】**

区制80周年の記念事業として地域の団体と連携して実施し、「ラジオ体操」を通じた機運醸成及び地域によるスポーツの推進を目指します。

開催予定日：令和6年8月13日(火)

開催場所：戸部公園

主催：かんぼ生命、NHK、NPO法人全国ラジオ体操連盟

共催：西区役所

協力：西区スポーツ推進委員連絡協議会、西区青少年指導員協議会、西区保健活動推進委員会

(4) **西区ハマのウォーキングフェスティバル(2,200千円)**

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、「西区ハマのウォーキングフェスティバル実行委員会」の主催により、広く区民を対象としたウォーキングフェスティバルを令和6年12月1日(日)に実施します。

■参考：第17回西区ハマのウォーキングフェスティバル

【開催日】令和5年12月3日

【参加者数】1,054名

【コース】ぐるり文明開化コース(長距離/約8km)
ぶらり開港コース(短距離/約4km)



ゴール会場(臨港パーク)(令和5年度)

(5) **区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業(875千円)**

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

ケ 西区「Zero Carbon」推進事業

(地域振興課)

【予算額 3,147千円(前年度比 238千円増)】

横浜市一般廃棄物処理基本計画に基づく、ごみの資源化・減量化啓発事業の実施や地域清掃の支援により、地域におけるごみの減量・3R意識の向上と地域美化の進展を目指します。

新たな処理基本計画「ヨコハマ プラ5.3 (ごみ) 計画」※が策定されましたが、脱炭素社会の実現に向け、引き続きごみ減量を進めるために食品ロス削減・ごみの分別や生ごみ水切りの更なる徹底などの発生抑制(リデュース)について、区民、事業者に働きかけます。

また、首都圏有数のターミナルである横浜駅周辺地区をはじめとして、きれいな街づくりを推進するため、地域ニーズに配慮した活動を進め、美化・清掃活動を積極的に行います。

なお、各事業において、西区制80周年の機運が高まるよう効果的な事業展開を進めていきます。

※3Rや安定的なごみ処理に加え、燃やすごみに含まれるプラスチックごみを2万トン削減(市民1人あたり年間5.3kg)することで、脱炭素社会の実現に貢献していくことを目的としています。

(1) 環境に配慮した行動推進事業(862千円)

① 食品ロス・手つかず食品の削減、プラスチック削減

ごみの減量・資源化と並行してフードロス・プラスチック削減普及啓発について、積極的に取り組んでいきます。

環境行動推進本部総会及び西区環境行動功労者表彰を実施し、地域において、ごみの減量・リサイクルにかかわる実践活動、啓発活動など、3Rの推進に功労のあった個人又は団体に対し表彰を行います。(6月25日表彰式実施予定)

世界的な課題となっているプラスチック問題を幅広い区民の方に関心を持ってもらうため、フードロス・プラスチック削減イベント時には環境負荷を抑えた製品やプラスチック代替素材を原料とした啓発物品を使用します。

また、今年度も企業と協働した取組として、環境問題を身近な事に感じてもらうため、親子で楽しみながら学べるワークショップを人通りが多くにぎわいを見せる横浜駅西口で実施します。(JR横浜タワー2階アトリウム6月15日予定)

また、デジタルサイネージを活用した啓発では企業と連携し、フードロス問題と防災を絡めるなど、区民の関心の高い内容で行うことにより、効果的な啓発を引き続き実施していきます。



プラスチックフリー啓発物品の例



ワークショップ実施例 (JR横浜タワー)

② 啓発や環境学習の推進

小学生を対象とした環境学習では(公財)横浜市資源循環公社と連携したリサイクル講座を実施します。

リサイクル講座では座学以外にも体験的要素を取り入れ関心をひくことで、児童達のリサイクルに対する理解度を高めていきます。

また、各学校の要望に合わせて、場所や時間の制限を受けにくいオンライン講座等を実施します。



リサイクル講座（エコキャンドル作り）の様子
(一本松小学校放課後キッズクラブ)

(2) 清潔で美しい街づくり推進事業（2,285千円）【拡充】

自治会・町内会等による地域清掃活動を支援するため、必要とする清掃用具を配布します。(8月頃配布予定)

区内の高校・企業と連携し、横浜駅西口周辺地区の清掃・組成調査を行う地域貢献活動を、今後も地域において幅広い年代の方に関心を持っていただける活動として展開します。

また、企業・団体等による清掃活動（WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER）を支援するとともに、横浜の玄関口である横浜駅周辺での大規模清掃活動「横浜駅をきれいに！」キャンペーン（5月30日）を実施した他、区局が連携した行政による清掃活動を引き続き実施します。

さらに、ポイ捨てをされない環境づくりを目的に地域・行政で立ち上げた検討会では、定期的に会議の場を持ち、地域課題を吸い上げることや、ポイ捨ての多いエリア・時期にごみ箱の設置や清掃委託の実施を検討することで、街の美化・環境改善の拡充を図ります。（6月7日令和6年度第1回開催）

なお、ごみのポイ捨て対策として、帷子川沿いのポイ捨て禁止看板や新田間川遊歩道で実施している横断幕・ポイ捨て抑制路面シールによる啓発を継続するとともに、企業の協力を得て放映した街の美化に関する啓発画像やポイ捨ての多い場所へのポイ捨て禁止看板、ステッカーの貼付を行うことで「清潔で美しい街づくり」を推進していきます。



横浜平沼高校生徒による清掃活動



横浜駅をきれいに！キャンペーン

コ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)

【予算額 12,530千円(対前年度比 27千円増)】

西区の「安全・安心なまちづくり」の実現に向け、地域防災拠点訓練、小中学生向け防災セミナー、防災啓発イベント等を実施し、自助・共助の取組を推進します。また、関係機関と連携した各種訓練を実施し、区本部機能の強化を図ります。

(1) 地域防災拠点の機能強化(1,500千円)

① 円滑な避難所運営と多様な避難者への対応支援

円滑な地域防災拠点(以下、「拠点」)運営ができるよう、新たな資機材や避難所の防犯対策グッズを配備するとともに、避難スペース確保のため、補充的避難所の活用も想定した訓練を実施します。

また、乳幼児、高齢者、障害者といった要配慮者など多様な避難者に拠点对応できるよう支援を行います。



一本松小学校地域防災拠点訓練
(令和5年度)

② 地域防災拠点訓練の実施

発災時に拠点が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します。

(防災週間(8月)～3月、年1～2回)

訓練の実施にあたっては、マニュアルや訓練事例を各拠点と共有し、各拠点の現状を踏まえた訓練の実施を支援します。

・地域防災拠点管理運営委員会連絡協議会の開催(5月31日)

(2) 区本部の防災機能強化(5,674千円)

① 震災・風水害対策の強化

災害時を想定した区本部のシミュレーション訓練を実施し、発災時における区本部の災害対応力を強化するとともに、区社会福祉協議会と連携し災害ボランティアセンターの設置訓練等を実施します。

・風水害対策訓練(5月13日実施 参加20名)

・津波避難施設開設訓練(8月)

・ボランティアセンター設置訓練(10月)

・震災対策訓練(通年)



風水害対策本部訓練の様子(令和6年度)

② 帰宅困難者対策の強化

横浜駅情報連絡本部であるJR横浜タワーを中心とした情報受伝達訓練や、帰宅困難者への対応を想定した区災害対策本部訓練を実施します。また、帰宅困難者一時滞在施設と連携し、帰宅困難者の受け入れに関するシミュレーション訓練を新たに実施します。

・JRタワーでの帰宅困難者対策訓練(6月)

③ 災害医療対策の推進

区内医療機関・医療局との通信訓練(隔月)や医療救護隊巡回訓練及び医療救護隊検討会、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害医療連絡会(2～3月予定)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。

(3) 自助・共助の推進(5,356千円)【拡充】

① 地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会の実施

相談者の満足度が非常に高い、地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会を引き続き実施し、民有地崖・擁壁の適切な維持管理の啓発を図ります。(計12組)

【実施日時】

(1)令和6年6月23日(日) @西地区センター

(2)令和6年6月24日(月) @西区役所



崖地相談会の様子(令和5年度)

② 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカー(簡易タイプ)の購入に係る補助事業を引き続き推進します。補助金額の上限は5,000円から10,000円に引き上げます。また、感震ブレーカーの認知度向上及び火災延焼対策としての有効性の理解促進を図るため、単位町内会への個別説明や防災指導等の機会に西消防署と連携して啓発活動を行います。老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

■参考:過去3年の実績

【感震ブレーカー補助実績】

・令和3年度: 6団体・144個

・令和4年度: 2団体・90個

・令和5年度: 2団体・15個

【初期消火器具更新実績】

・令和3年度: 3団体・4基

・令和4年度: 1団体・1基

・令和5年度: 2団体・2基

③ 区民への防災・減災の普及啓発

多世代への防災・減災啓発を目的に、西消防署等と連携した防災イベントを新規に実施します。(9月)

また、区制80周年ロゴマーク入り防災啓発グッズの活用や子育て世帯への防災啓発グッズの配布、広報よこはま西区版で防災特集による啓発、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーなど、あらゆる機会を捉え、啓発を実施します。



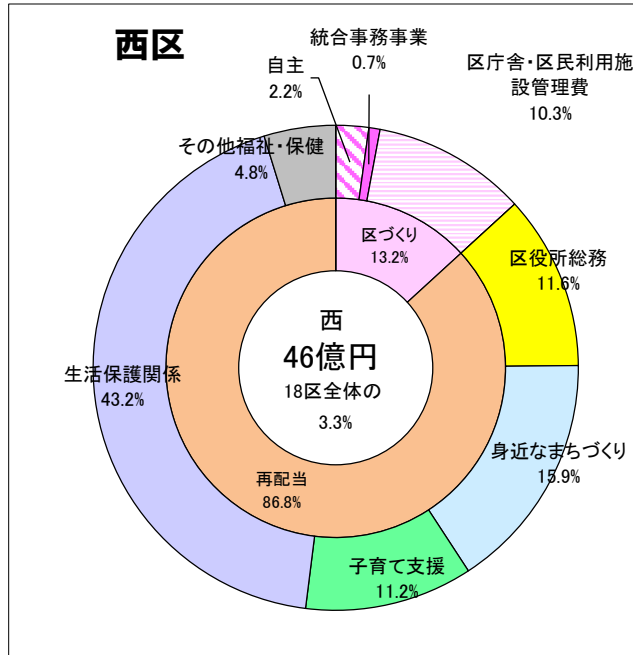
小学生向け防災セミナーの様子(令和5年度)



子育て世代への防災啓発グッズ

3-(3) 西区に係る予算のすがた（令和6年度一般会計予算）

一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）が使われています。横浜市の一般会計の規模は1兆9,156億円ですが、このうち区が執行している予算の規模（区の人件費を除く）は1,386億円です。このうち、西区が執行している46億円の予算に焦点をあてて、税金を用いて、どれだけの事務事業を行っているかを示します。



西区の予算の特徴

令和6年度一般会計予算の中で、西区が執行している予算の規模は、約46億円となっており、18区全体の予算のおよそ3.3%を占めています。これは、単純に区民1人当たりには換算すると、43,037円を支出していることとなります。

そのうち、区が自律編成を行う「個性ある区づくり推進費」は約6億800万円となっており、西区に係る予算の約13.2%となっております。「個性ある区づくり推進費」の中でも「区庁舎・区民利用施設管理費」の割合が高くなっています。

区に係る予算の中でも大部分を占めているのは、局から予算の再配当を受け区が執行している「再配当予算」で、西区全体の約86.8%に及びます。その中でも特に「生活保護」に係る予算は19億9000万円となっており、西区全体の43.2%を占めています。また、保育所の運営費や放課後児童健全育成など「子育て支援」に係る経費は5億1500万円、西区全体の11.2%を占めています。「身近なまちづくり」として約7億3300万円、西区全体の15.9%を占めている予算は、土木事務所が執行する予算で、身近な道路・公園等の管理運営に係る経費となっております。

このように西区の予算は、地域の課題やニーズに迅速かつきめ細やかに対応するための自主企画事業を始め、局からの予算の再配当を受け、局に代わり区民生活に密着した福祉や保健、子育て、身近なまちづくりなど、区民生活を支える重要な事務事業を担っています。

主 な 事 業 内 容

(単位:百万円)

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	608	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	101	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	34	広報よこはま各版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	473	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
再配当予算	3,994	局からの予算再配当を受け、区が執行している予算
区役所総務費	536	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	421	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	9	「広報よこはま」や「県のとより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	1	各種統計調査を行うための経費です。
地域活動推進費等	105	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	733	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 854 百万円
道路修繕費等	652	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	1	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(120)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	80	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	515	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
市立保育所運営	15	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費
放課後児童健全育成	388	放課後キッズクラブ運営委員会への補助金等
地域子育て支援拠点等	112	地域子育て支援拠点、小児医療費助成等
生活保護等	1,990	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	1,968	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。(対象見込み世帯1,432世帯)
生活困窮者自立支援	21	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	219	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	59	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	27	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
地域ケアプラザの管理運営等	134	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
合 計	4,601	(※)下 水 道 事 業 を 含 む 4,722 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの再配当額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大きな全体像を示した内容となっています。
(現時点では区への再配当額が未定のため、区へ再配当する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています)

3-(4) 区制 80 周年記念事業の取組

1 実行委員会が実施する主な取組（※実施時期は予定を含みます）

① 「横浜西区LOVE Walker」の発行（6月5日から順次配架）

西区の商店街等にある店舗を紹介する冊子（横浜西区LOVE Walker）を2万部発行しました。
（詳細は、P.16 西区情報発信事業を参照）



「横浜西区LOVE Walker」の表紙ページ

② 記念ノベルティの制作（10月配布）

西区内の小学生に、西区の歴史が学べ、記念となるクリアファイルを配布します。

③ 「重ね押しスタンプラリー☆西区の魅力を再発見！」の実施（10月下旬～12月下旬）

区内の7つのエリアを巡り、魅力を再発見してもらうスタンプラリーを実施します。全てのスタンプを押すと、西区にちなんだ絵柄が完成します。

■スタンプ設置場所

西消防署、にしとも広場、生活創造空間にし、野毛山動物園、西地区センター、西スポーツセンター、帆船日本丸・横浜みなと博物館



重ね押しスタンプのイメージ

④ 記念作品の制作（10月頃）

区庁舎前にある区制50周年を記念して制作した石のベンチのリニューアル等を行います。
（作品周辺の植栽整備等の庁舎前環境整備には、一部個性ある区づくり推進費を活用します。）

⑤ 記念式典の開催（11月24日）

■日時：11月24日（日）14時～15時45分（予定）

■場所：西公会堂（西区岡野1-6-41）

■実施内容（予定）

・第一部 式典

実行委員長あいさつ、80周年の取組紹介（動画放映）他

・第二部 記念イベント

神奈川大学チアリーディング部

音楽系イベント（楽器演奏など）【出演者調整中】



70周年記念式典の様子

⑥ 記念誌の発行（11月）

区民全体で西区制80周年をお祝いするため、西区への思いやお祝いメッセージ等をまとめた記念誌を発行します。web版を基本とし、実行委員会や協賛企業の皆さま等には印刷した冊子を配布します。

※上記の事業費については、補助金のほか、各団体からの協賛金を活用します。

2 西区におけるイベントや区役所等における区制 80 周年記念事業の取組

「西区虫の音を聞く会」での彦根鉄砲隊による演武や、区民まつりにおける横浜 DeNA ベイスターズとの連携など、地域の皆様と培ってきたイベントに特別感を演出して開催することで、更に区制 80 周年を盛り上げ、たくさんの方に楽しんでいただけるよう取り組みます。

また、西区制 80 周年を記念して、生涯学習講座の受講者が作成した「西区今昔かるた」を使った「西区今昔かるた大会」を実施し、遊びを通じて西区がこれまでに培ってきた歴史を知る機会を提供するなど、様々な場面で区制 80 周年を盛り上げます。



西区今昔かるた

3 地域・団体が実施する区制 80 周年記念連携事業

地域、団体、企業の皆様が主催のイベントについても、「西区制 80 周年記念連携事業」として一緒に 80 周年を盛り上げていただきます。(5 月末までの申請件数 45 件)

区制 80 周年記念連携事業 (例)

- ・各地区のお祭りや講座
- ・スポーツチームが行う「区民デー」
- ・商店街イベント
- などを想定。

横浜市西区社会福祉協議会「西区制 80 周年記念補助金」について(5,400 千円)

地区連合町内会・自治会、地区民生委員・児童委員協議会、地区社会福祉協議会を対象に「にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)」実現のための地域活動に対し、令和 6 年限りの補助金が創設されました。

【参考】年間スケジュール(実行委員会、区役所、地域が主催するもの。財源を問わず掲載しています。)

令和 6 年 5 月末現在

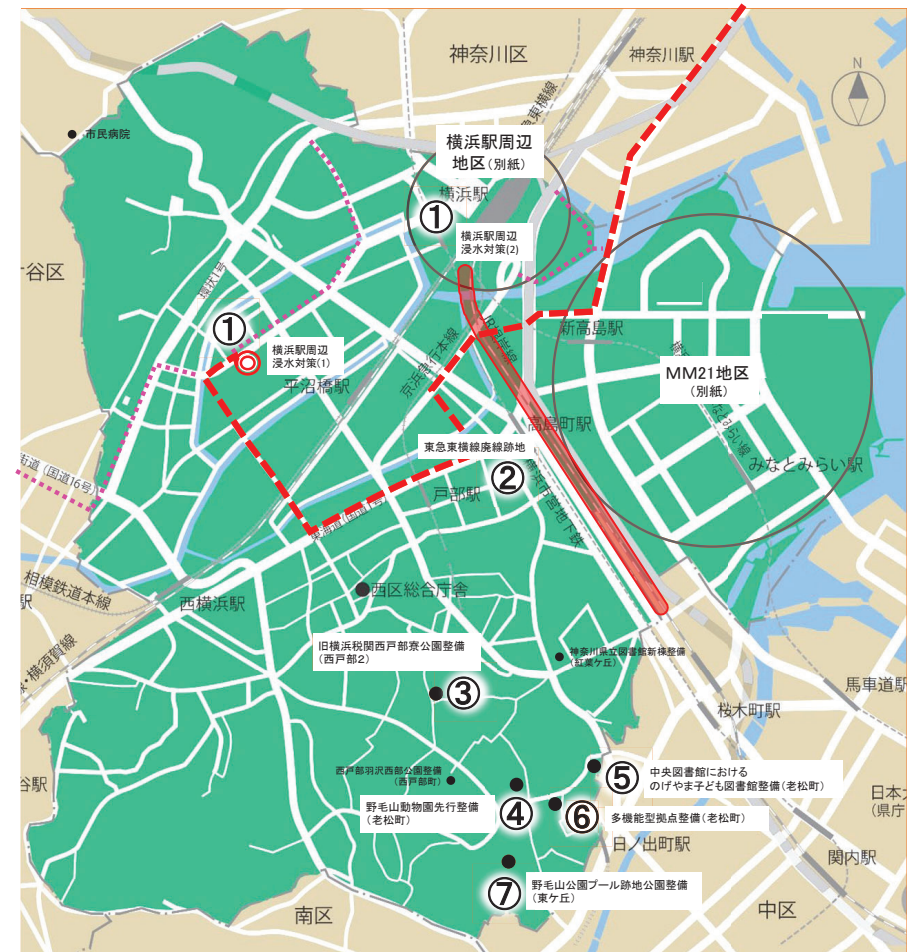
日程 ※予定含む	事業・イベント名 (主催者)	主催
6/5～	「横浜西区 LOVE Walker」の発行	西区制80周年記念事業実行委員会
7～9月上旬	西区Instagramフォトコンテスト	西区役所
8/2、3	フラワーアレンジメント講座	西区役所
8/4	西区今昔かるた大会	西区役所
8/13	夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会	かんぼ生命、NHK、NPO法人全国ラジオ体操連盟 (共催：西区役所)
8/19～9/30	西区ぱくぱく & てくてくスタンプラリー	西区役所、西区制80周年記念事業実行委員会
8/24	西区虫の音を聞く会 (彦根鉄砲隊による演武)	ふるさと西区推進委員会
9月	親子向け防災イベント	西区役所
10月下旬～12月下旬	重ね押しスタンプラリー☆西区の魅力を再発見!	西区制80周年記念事業実行委員会
10月	記念作品の制作	西区制80周年記念事業実行委員会
11月	記念誌の発行	西区制80周年記念事業実行委員会
11/10	西区民まつり	西区民まつり実行委員会
11/24	記念式典	西区制80周年記念事業実行委員会
12/1	西区ハマのウォーキングフェスティバル	西区ハマのウォーキングフェスティバル実行委員会
12/21	西区キャンドルアート	ふるさと西区推進委員会

※区役所が実施するイベントについては、R6 年度予算が 20 万円以上増額したものを中心に掲載していますが、区役所の既存事業も予算に関わらず積極的に区制 80 周年と連携します。

【参考】西区における開発動向等

地図	概要
①	<p>横浜駅周辺浸水対策</p> <p>(1) 神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線下水道整備工事事業 横浜駅周辺では10年確率降雨(60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(74mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線の整備を進めています。 地元の皆様や野球場利用団体と調整を行い、岡野公園の野球場の一部に雨水幹線の立坑を設置する工事を行っています。令和5年12月に雨水幹線のシールド工事にも着手しました。供用開始は令和12(2030)年度を予定しています。</p> <p>(2) 横浜駅周辺における下水道管内水位の情報提供 横浜駅西口周辺において、地下街管理者をはじめ来街される市民の皆様等に、主要な地点における下水道管内の水位情報を提供する取組を開始しました。引き続き、水位の閲覧状況を把握し、地下街管理者との意見交換などを進め、効果検証を行います。また、新たに横浜駅東口の2か所のマンホールに水位計を設置し、令和5年5月31日に運用開始しました。</p>
②	<p>東急東横線廃線跡地</p> <p>令和元年7月に供用開始した桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間については、各種イベントの開催など利活用を行っています。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っています。 6年度は、補強等が困難な浅山橋交差点から高島町交差点までの構造物の撤去工事を進めるとともに、5年度に行った周辺エリアの歩行者流動調査等を踏まえ、改めて遊歩道整備の基本計画の検討を進めます。</p>
③	<p>旧横浜税関西戸部寮公園整備 (公園面積 約1,500㎡)</p> <p>環境創造局が国家公務員宿舎跡地を取得し、街区公園として整備を行います。令和6年3月に基盤整備工事が完了し、現在は公園施設の工事を進めています。令和6年度中の供用開始を予定しています。</p>
④	<p>野毛山動物園先行整備</p> <p>野毛山動物園リニューアルの先行整備として、ふれあいコーナーへの屋根設置やなかよし広場の休憩所の建替え、園内トイレの改修等を行います。供用開始は令和7年4月を予定しています。 また、動物園の大池前にある広場について再整備を行い、令和6年4月13日に供用開始しました。</p>
⑤	<p>中央図書館におけるのげやま子ども図書館整備</p> <p>中央図書館1階を、親子連れや子どもたちが楽しく学べる、居心地の良い“子ども図書館”としてリニューアルします。また、誰もが使いやすい図書館となるようインクルーシブな環境づくりを進めます。 令和6年度は、1階レストランフロアを改修し、「親子フロア」を整備します。</p>
⑥	<p>多機能型拠点整備 (旧青少年交流センター跡地)</p> <p>西区老松町の旧青少年交流センター跡地を市内5館目の多機能型拠点整備用地とし、運営法人の公募を実施していきます。(令和10年度開所予定)</p>
⑦	<p>野毛山公園プール跡地公園整備 (土地面積 約6,200㎡)</p> <p>プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行っていましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。引き続き、周辺のまちづくりの動向をふまえ検討を行います。</p>

【参考】西区における開発動向等(西区開発動向分布図)



【参考】西区における開発動向等（横浜駅周辺地区）

横浜駅西口

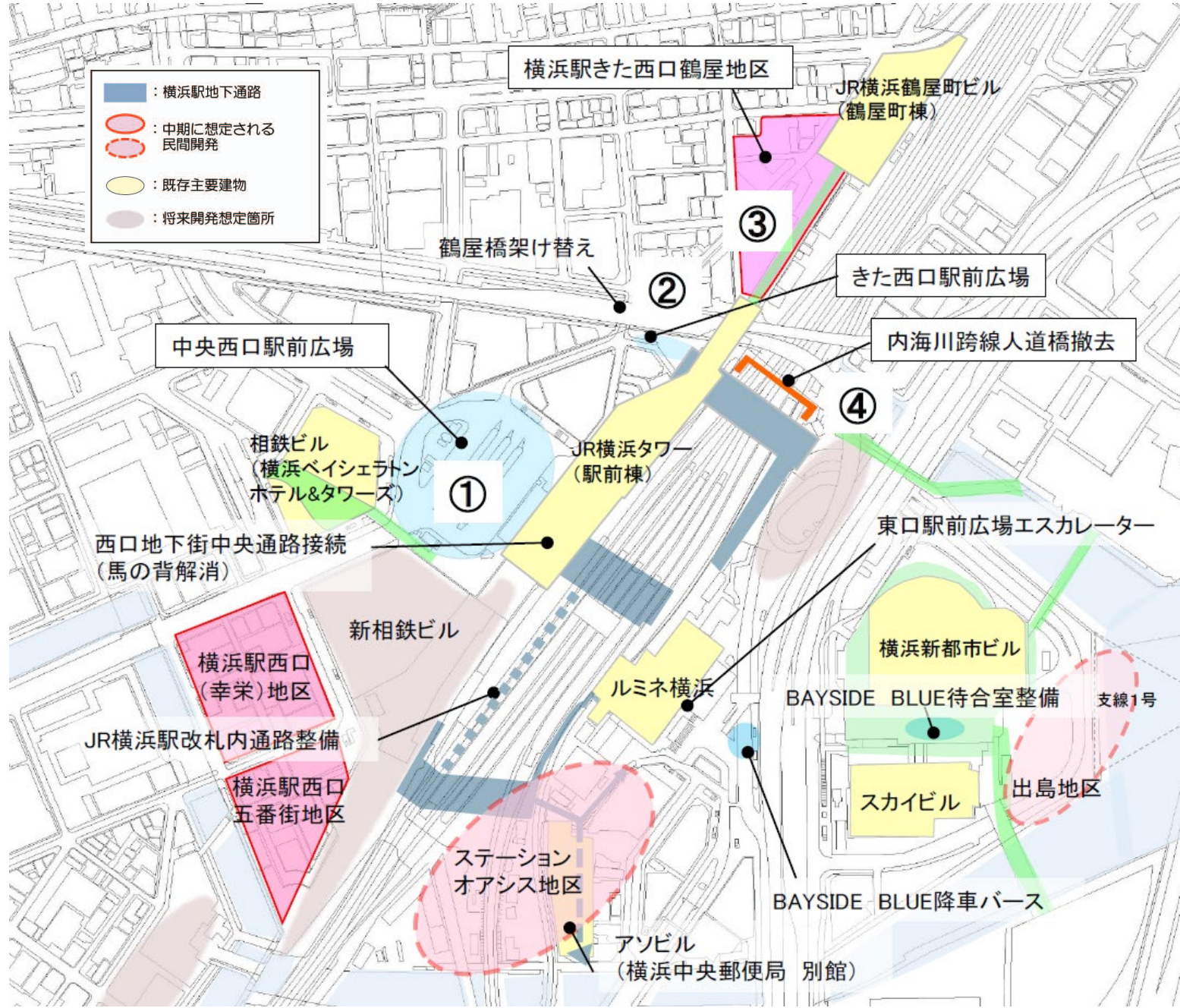
①中央西口駅前広場については、JR横浜タワー前の屋根を令和3年6月に、高島屋前屋根を令和5年1月に供用開始し、中央西口駅前広場における屋根整備は完了しました。引き続き舗装等の駅前広場整備を進めます。

②きた西口駅前広場については、屋根工事をしていますが地中支障物の影響で工事が遅れており、屋根の完成は令和6年度になる予定です。

横浜駅東口

横浜中央郵便局及びその周辺地区（ステーションオアシス）における民間開発の早期事業化に向けて、地区内の権利者（日本郵政グループ、JR東日本、京急電鉄など）により、横浜の玄関口となる施設計画などの検討を進めています。また、関連する施設として、駅前広場やデッキ、支線1号線等、東口全体の基盤整備計画について横浜市が中心となり検討を行っています。

①	中央西口駅前広場 令和元（2019）年7月～ 令和3（2021）年6月 JR横浜タワー前の屋根全体が供用開始 令和5（2023）年1月 横浜高島屋前の屋根完成 引き続き駅前広場の舗装整備等を行っていく予定
②	きた西口駅前広場 令和元（2019）年7月～ 令和3（2021）年4月 エレベーター供用開始 令和6（2024）年度 屋根完成予定 屋根完成後、順次、高欄や植栽、舗装整備等の広場整備を行っていく予定
③	横浜駅きた西口鶴屋地区（再開発ビル） 事業者：横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合 階数・高さ：地上43階/地下2階、約178m 用途：住宅、ホテル、商業施設等 平成29（2017）年度 再開発組合設立 令和元（2019）年度 建築工事着工 令和5（2023）年度 再開発建物竣工
④	内海川（うつみがわ）跨線人道橋撤去 平成30（2018）年～令和6（2024）年予定 令和4（2022）年度 鉄道架線支持替や主要な構造部の撤去工事着手 令和5（2023）年度 鋼材や基礎などの撤去工事やPCB処分を実施 令和6（2024）年度 鋼材の撤去や信号設備支障移転、作業ヤード復旧工事等を実施し撤去事業完了予定

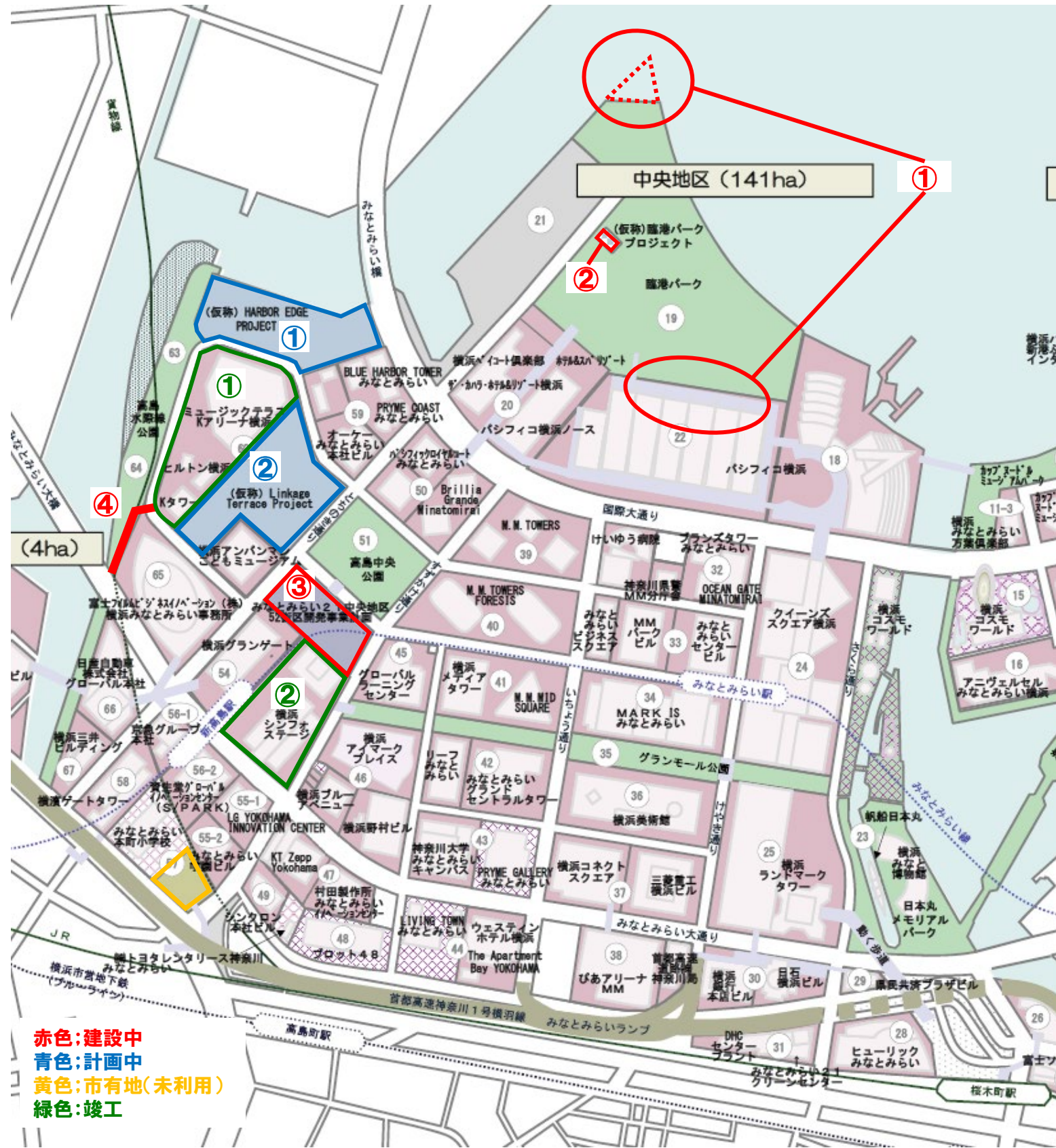


【全体スケジュール】

令和元（2019）年7月	①②中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手	令和3（2021）年6月	①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事完了→JR横浜タワー前屋根供用開始
令和元（2019）年10月	③横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手	令和3（2021）年10月	②きた西口駅前広場 屋根工事着手
令和元（2019）年12月	西口地下街中央通路接続事業（馬の背解消）新設通路開通	令和4（2022）年1月	①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根工事着手
令和2（2020）年3月	JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工	令和5（2023）年1月	①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根完成→中央西口駅前広場屋根全面供用開始
令和2（2020）年7月	①中央西口駅前広場 JR横浜タワーアトリウム前屋根工事完了	令和6（2024）年3月	③横浜駅きた西口鶴屋地区の再開発建物竣工
令和2（2020）年8月	①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事着手	令和6（2024）年度	②きた西口駅前広場 屋根完成（予定）
	JR横浜駅改札内通路整備完了	令和6（2024）年度	④内海川跨線人道橋撤去工事完了（予定）
令和2（2020）年12月	BAYSIDE BLUE 待合室整備完了		

【参考】西区における開発動向等（みなとみらい21地区）

<p>赤① 19の一部：臨港パークの整備</p> <p>【先端部等の整備】 事業主体：港湾局 規模等：約1.5ha 施設：接続デッキ(パシフィコ横浜) 緑地、護岸、藻場・浅場(人工海浜・岩場)等 竣工：令和7(2025)年度予定</p>	<p>赤② 19の一部：カフェ・レクリエーション施設の整備</p> <p>事業主体：臨港パークプロジェクトチーム (代表企業)株式会社ドラフト (構成企業)株式会社伊佐建設 スプリングハズカム合同会社 規模等/高さ：地上3階 建築面積：約600㎡ 施設：カフェ、ランニングステーション、レストラン等 竣工：令和7(2025)年度予定</p>
<p>赤③ 52：みなとみらい21中央地区52街区開発事業計画</p> <p>事業主体：DKみなとみらい52街区特定目的会社 株式会社光優 規模等/高さ：地上29階、地下2階/約180m 敷地/延床面積：約11,800㎡/約115,000㎡ 施設：オフィス、オープンイノベーションスペース、ゲームアートミュージアム、店舗等 竣工：令和9(2027)年5月予定</p>	<p>赤④ 60・61の一部-みなとみらい大通り：(仮称)高島水際線デッキ整備</p> <p>事業主体：都市整備局 規模等：幅員6.0m、橋長約130m 着工：令和3(2021)年10月 竣工：令和7(2025)年度末予定</p>
<p>青① 62：(仮称)HARBOR EDGE PROJECT</p> <p>事業主体：ベルジャヤ横浜ホスピタリティアセット特定目的会社 規模等/高さ：地上14階、地下1階/約60m 敷地/延床面積：約22,000㎡/約88,500㎡ 施設：ホテル&ホテルコンドミニウム、デジタル水族館、ミュージアム、店舗等 着工：令和7(2025)年7月予定 竣工：令和10(2028)年9月予定</p>	<p>青② 60・61：(仮称)Linkage Terrace Project</p> <p>事業主体：(代表企業)(株)ケン・コーポレーション (構成企業)SMFLみらいパートナーズ(株)、鹿島建設(株)、学校法人岩崎学園 規模等/高さ：(西棟)地上13階、地下1階/約64m (東棟)地上27階、地下1階/約100m 敷地面積：約23,000㎡ 延床面積：(東棟)約129,000㎡ (西棟)約26,000㎡ 施設：(西棟)専門学校 (東棟)オフィス、ホテル、ミュージアム、商業施設 着工：令和8(2026)年3月予定 竣工：令和10(2028)年8月予定(西棟) 令和11(2029)年2月予定(東棟)</p>



赤色:建設中
 青色:計画中
 黄色:市有地(未利用)
 緑色:竣工

- 緑① Kアリーナプロジェクト(ミュージックテラス) 令和5(2023)年7月竣工
 ・Kアリーナ横浜(音楽アリーナ/収容人数約2万人 令和5(2023)年9月29日開業
 ・ヒルトン横浜(ホテル) 令和5年9月24日開業
- 緑② 横浜シンフォステージ 令和6年3月竣工